



竹村 仁司 議員

## 第二次男女共同参画プラン



合が高い。  
男女が共に担う地域社会づくりにおいては、施策や政策の決定過程において女性の参画が今後より必要不可欠になるという考え方である。

### 質問

第二次愛西市男女共同参画プラン（案）の中で特に課題となる事柄は何か。

### 総務部長

今回の二次計画の中で、二つの重点課題を設けている。一つが、男女共同参画意識を高める啓発活動の充実。二つ目が、あらゆる暴力の根絶と支援体制の充実である。

### 質問

東日本大震災の教訓として女性の目線による防災対策がある。本市の考えは。

### 総務部長

大震災による避難所生活での問題・課題として整理している。取り組んだのは、女性の目線による備蓄品として、

粉ミルク・哺乳瓶・子供用のおむつ・女性用品があり、保健師と調整をとりながら備蓄を図っている。当然、避難所にはトイレの問題がある。仮設トイレに関して新年度予算で30基の増設を願い、トイレ不足にも配慮する。

## 本市のPR活動の推進は

### 質問

自主財源の確保に対する本市の方針・考え方は。

### 企画部長

自主財源の確保に向けては現在取り組んでいる内容としては、ホームページへのバナー広告・広報誌裏面の企業広告がある。企業誘致については、担当課において優遇制度ができないうか検討に入った。また、観光資源を活用した観光事業の展開も考えている。

### 質問

カゴメが制定した「あいさいの日」に対して、本市の考えは。

### 企画部長

愛知の「愛」と野菜の「菜」の愛菜と愛西市の「あいさい」という音に親しみを覚えて、市のPRとマスコトキョウクター「あいさいさん」の紹介を兼ねて、2月6日に親書とあいさいさんグッズをカゴメ株式会社に贈った。その後カゴメより電話があった。キャンペーンを打たれる機会をとらえて、連携も図ってきたい。

### その他の質問

・期日前投票の簡素化について

### 質問

平成19年度を初年度とした愛西市男女共同参画プランの各種施策・事業の進捗評価、実績評価の報告を。

### 総務部長

計画数値目標の一つに、男

女共同参画社会の認知度がある。アンケートの結果から、

目標設定は46・1%だが、結果は59・1%あった。しかし、最終的には社会全体で見た男女の平等感、これについては依然として男性の方が優遇されていると感じている人の割

合が高い。男女が共に担う地域社会づくりにおいては、施策や政策の決定過程において女性の参画が今後より必要不可欠になるという考え方である。